

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	福永家住宅・塩田保存活用事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課		
総合計画体系			根拠法令計画など	文化財保護法		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	昭和	51年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)		文化財				
施策	3	文化財の保護と活用				
基本事業	2	文化財の保護と活用				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 国指定重要文化財「福永家住宅」														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	全国で唯一、近代化以前の製塩業の姿を残す「福永家住宅」について、必要な保存対策・環境整備を進めながら、公有化した建物・塩田の公開活用を行う。これにより、文化財を地域学習の材料としてだけでなく、地域活動及び観光資源として活用することを目指す。														
事業計画	27年度に何を計画していたか	①27年度で策定する保存活用計画(案)に必要な資料をそろえるため、建物等の保存状況に関する調査を行った上で、計画の一部である「保存管理の現状」と「保護の方針」の案を作成する。(※委託事業により実施) ②保存活用検討委員会を開催して、保存活用の現状に関する意見を聞き、今後の活用や計画に関する検討を行う。 ③地域住民やボランティアと協働し、一般公開事業を実施する。 ④排水施設の地元への管理委託を開始する。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福永家住宅の保存整備</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	福永家住宅の保存整備	80	80	90	90	90	%
指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位										
福永家住宅の保存整備	80	80	90	90	90	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①保存活用計画(案)に必要な建物等の保存状況に関する調査を行い、計画の一部である「保存管理の現状」と「保護の方針」の案を作成した。(※委託事業により実施した) ②保存活用検討委員会を開催して、保存活用の現状に関する意見を聞き、今後の活用や計画に関する検討を行った。 ③地域住民やボランティアと協働し、一般公開事業を実施した。 ④排水施設の地元への管理委託を開始した。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	福永家住宅の公開(テレビ取材含)	15	12	20	20	20	件
	2	福永家住宅の市有化率	95	95	100	100	100	%
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	福永家住宅の保存整備		80	80	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり				

(千円)

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		1,811	905	0	0	3,778	6,494
		全体予算額		1,811	0	0	0	4,683	6,494
		決算額		1,797	0	0	0	4,203	6,000
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.5	0.0	3,430		9,430			

【事務事業名：福永家住宅・塩田保存活用事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	59,289	6,000	5,504	1,562	1,562
	うち一般財源	819	4,203	3,594	1,562	1,562
	人件費	3,439	3,430	3,430	3,430	3,430
	総事業費	62,728	9,430	8,934	4,992	4,992

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		公開事業などを通して、市民に鳴門の塩づくりの歴史を伝え、郷土愛を醸成する効果があった。
	効率性	B:概ね効率的だった		必要な事業については予算を投入し、保存活用のための環境維持及び改善を図ることができた。
②成果に対する評価	指標名	福永家住宅の保存整備		建物の漆喰壁や塩田排水管の金属蓋の修繕を行って、必要な施設の維持改修を行うことができた。また、文化財の公開事業も試験的に実施しながら、保存活用計画の策定に向けた事業を進めることができた。
	目標	80	%	
	実績	80	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		文化財の保存と活用について、必要な事業を実施することができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	「保存活用計画」は、文化財の保存活用状況に関する現状調査を行った上で、建造物や塩田をどのように修理・保存し、どのように管理活用していくのかについて計画を示したものであり、28年度内の策定を目指す。 計画策定後は、計画に基づく事業を進めていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	①保存活用計画の策定に向けた調査事業および検討委員会の開催 ②地域住民やボランティア団体などと協働した公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施 ④指定地内に残る私有地について、公有化の交渉を継続する。			
	平成29年度	①保存活用計画に基づいた保存修理事業の検討 ②地域住民やボランティア団体などと協働した公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施			